

その他

若い力で安全安心な京都の街づくりに貢献！ ～学生だからできること、学生にしかできないこと～

活動場所：京都市内一円

活動時期：平成 21 年 6 月～

発表団体

学生防犯ボランティア
「ロックモンキーズ」



連携メンバー

各地域の防犯ボランティアの方々
近畿各府県の学生防犯ボランティア団体
京都府警察本部、府下各警察署

活動内容

「学生の街」と呼ばれている京都では、大学生の身近な交通手段である「自転車」の盗難被害が多い上に、その被害者及び被疑者の多くを若者が占める現状から、大学生の防犯意識や規範意識の高揚を目的に平成 21 年 6 月、学生防犯ボランティア登録制度が創設され、ロックモンキーズが誕生した。名前の由来は、鍵かけの「ロック」と「キー」を組み合わせたもの。

活動内容は創設当初の「自転車盗対策」から防犯活動全般へと拡大（主として次の4項目）

- 広報啓発活動（キャンペーン）
街頭犯罪被害防止のため大学・駅・大型商業施設等で防犯啓発チラシやグッズを配付して実施
- 防犯教室
子どもから高齢者までを対象に、着ぐるみやレンジャー衣装等を駆使して、寸劇やダンスによるわかりやすく楽しく学べる教室を実施
- 防犯パトロール
夜間人通りの少ない路地等の夜間パトロールや、入念な下見による危険箇所点検を兼ねたパトロールを実施。今年度からジョギングしながらパトロールする「ジョグパト」を新たに開始
- 各種防犯イベントへの参加
警察や行政等が実施する各種防犯イベントやパレードに参加して、若い力と情熱で、地域の防犯意識高揚を目指す。

取組の成果・活動で工夫した点

一番の課題は、人材の確保と効率的な組織運営

- そのために工夫した点
- ・ 幹部制の採用（パトロール部、防犯教室部、企画部、情報広報部の4部門、各メンバーの個性を活かす）
- ・ 積極的な勧奨活動（募集ポスター・チラシ作成、大学等へ働きかけ掲示依頼、ゼミ講義を利用した勧奨）
- ・ 自分たちが楽しめる活動を企画（花見、紅葉、クリスマス等のシーズンイベントを利用、観光名所や愛宕山登山パト、ジョグパト）
- ・ 初めての参加者も参加しやすい工夫（防犯教室でのカンニングペーパー、防犯パトロールでの説明）
- ・ 情報発信力のアップ（自分たちの活動を多くの人に知ってもらうため HP だけでなくツイッターを利用←活動を休んでいるメンバーにも有効だった、オリジナル啓発物品の企画作成）
- ・ 新規生を孤立させない（初めての活動が勝負、積極的な声かけ、次期幹部候補の発掘育成、活動に来たら「楽しい」

という経験を植え付ける、一泊二日の研修を兼ねた活動で仲間意識を培う)

- 失敗した点、改善した点
- ・ 事前調整の必要性（要請側が求めるものところが提供できる内容のミスマッチ、相手が大人や年長者であっても確認が必要なのは臆せずする、単なる学生動員要請などの便利屋ではないので「若い子を何人か寄こして」といういい加減なオーダーにはきっぱり NO)

連携メンバー・役割

各地域の防犯ボランティアの方々	キャンペーンやイベントの共同実施 (各警察署管内で活動している防犯推進委員、交番単位で活動している府民協働防犯ステーションの方々等)
近畿各府県の学生防犯ボランティア	防犯教室やジョグパト、交流会等の各種イベントの共同企画、共同実施（大阪府「みっくす」、摂南大学法学部中沼ゼミ、奈良県「あっぷりけ戦隊！奈良まもりたい」等）
京都府警察本部、府下各警察署	活動場所の提供、他団体との取り次ぎ、現場調整、資機材提供

今後の課題・目標

◆今後の課題

- ・ メンバーの固定化をいかに解消するか？
- ・ 防犯活動は、「何も起こらなくて当たり前」なので、メンバーのモチベーションをいかに維持するか？
- ・ 思わず参加したくなる、楽しく、魅力的な活動の提供、「楽しさ」と「やりがい」の創出

◆目標

- ・ 4部門の見直し（企画部と情報広報部を統合）
- ・ 現幹部と新幹部の引継時期を利用し、各部ごとに新たな活動を企画立案させる
(例：防犯教室部なら、他の団体に見学に行き合同練習、あるいは新しい教材やシナリオの作成をしたうえで、発表の場を設ける、パト部ならジョグパトを軌道に乗せるため次回の場所選定と企画、ユニフォームの導入など)
- ・ H31 が創設 10 周年となるため、10 周年記念イベントに向けた組織づくり

関連 WEB サイト : <https://lockmonkeys.jimdo.com>

twitter : 「学生防犯ボランティアロックモンキーズ」 (@lock_monkeys)